



な っ と く ん の

山口県立山口博物館 学校地域連携担当

2017年 6月16日 No.179

なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

CM Community Museum
地域の宝 学校の宝

みち 道ばたで見かけませんか？ しんりゃくてきがいらいしゅ 侵略的外来種



この花にピンときたら 侵略的外来種！

今回は、貴重な在来種という宝を守るためにも、みんなで考えなければならないテーマです。県内の出前授業に出かけるたびに、道ばたで目に入る黄色い花があります。名前をオオキンケイギクといいます。みなさんも日当たりの良い道ばたで、見かけたことがあると思います。キバナコスモスに似た花ですが、葉の形状などが異なっています。この花は、観賞するには美しい花ですが、「日本の侵略的外来種ワースト100」に選定されるなど、大きな問題になっているのです。



県内各地で繁殖しているオオキンケイギクの様子

日本の侵略的外来種ワースト100とは、日本生態学会が定めた、外来種の中でも、特に生態系や人間活動への影響が大きい生物のリストのことです。オオキンケイギクは、北アメリカ原産の宿根草で、最初は園芸用として販売されたこともあるので、日本全国で見られます。しかし、繁殖力が強く、これまであった植物を駆逐し、環境に悪影響を与えています。そのため、平成18年に外来生物法で特定外来生物に指定され、栽培することが禁止されています。山口県でも栽培禁止のお知らせを出しています。日本の侵略的外来種ワースト100に指定されている植物には、他にもひつつきむしとして遊ぶオオオナモミや綿毛で遊ぶセイヨウタンポポ、金魚の水槽などに入れるホテイアオイなどがあります。しかし、これらの生物の中には、人間が持ち込んだものも多いということも、考える必要がありますね。



山口博物館では、これらの侵略的外来種のいくつかを、実際の環境で再現したジオラマで展示しています。